

2005  
(平成17年)

広報



# まつざき

7

No. 494



## 水の季節到来!

本格的な夏を前に、  
熱さに負けない体力づくり。  
松崎小学校にて。(6/29)

# 安全で快適な夏に向けて —松崎町の夏期対策

## 海水浴場オープン

六月五日に岩地海水浴場で、二十五日には石部海水浴場で、海開きが行われました。これに続き、七月一日に雲見海水浴場、七月中旬には松崎海水浴場の海開きが予定されており、本格的な海水浴シーズンを迎えます。

賀茂健康福祉センターによる各海水浴場の水質検査の結果は岩地がAA、その他はAと判定され、安心して海水浴が楽しめます。

各海水浴場とも七月十六日から監視業務を始め、安全確保に努めます。

また、近年愛好者の増えている水上オートバイ対策として、松崎海岸では運行区域の規制を行い、事故防止に努めます。

## 食中毒防止対策

松崎町を含め、西伊豆地区の宿泊客数は、年間の四割近

くが夏のシーズンに集中しています。

このため、賀茂健康福祉センターでは、食品営業施設の監視指導を行うほか、食品営業者に対する食中毒防止講習会の実施や広報活動を予定しています。

賀茂健康福祉センター  
松崎支援室

四二一〇二六二

## 夏の交通安全対策

高齢者の交通事故防止、交差点における出会頭事故の防止、行楽期における追突事故防止を重点目標に、七月十一日から二十日まで「夏の交通安全県民運動」が実施されます。

観光客、帰省客の増加に伴い交通事故も増加します。交通ルールとマナーを守り、交通安全を心がけましょう。

なお、八月十六日は夏祭り開催に伴い、松崎地区で交通規制が行われますので、皆様

のご協力をお願いします。

## 不法投棄防止対策

夏期シーズンは廃棄物不法投棄が多発します。その対策として、例年不法投棄取締りパトロールを実施しています。期間は七月、八月の二ヶ月間で、不法投棄多発箇所を中心に毎週実施します。

不法投棄を発見した場合は廃棄場所、廃棄物の種類によって土地所有者、関係機関への連絡を行います。また、悪質なものについては警察に通報するなどの措置を講じます。パトロールのほかにも、不法投棄防止の広報活動や看板の設置等を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めます。

役場生活環境課

四二一三九六九

## 海でのもしもは

### 一一八番！

警察の一一〇番や消防署の

一一九番とともに、海上保安庁の一一八番も忘れないでください。

海難救助の要請だけでなく、密航や不審船の情報提供にもご利用ください。

また、七、八月は海の安全運動強化期間として、事故救命手段の確保徹底、出港前点検の徹底と見張り励行を重点事項として広報活動や巡回指導を行う予定です。

海上保安庁下田海上保安部

二三一〇一一八

## 夏のゴミ対策

ゴミの量が増大する夏期の処理対策として、七月二十五日から八月二十一日まで特別収集を行います。日程はお知らせコーナーをご覧ください。皆様のご協力をお願いします。

◎可燃ゴミは指定ゴミ袋で出すしてください。

◎可燃ゴミと分別ゴミはしっかりと分けて、分別収集にご協力ください。

◎水分を充分切ってから出すてください。

◎可燃ゴミは八時十五分までに出してください。

役場生活環境課  
四二一三九六九

## 青少年健全育成

七月は、青少年非行防止強化月間です。家庭・学校・地域社会が連携し、青少年の健全育成及び非行防止に努めましょう。

期間中、健全育成の啓発チラシの配布や非行防止キャンペーン、広報車による巡回広報等さまざまな取り組みが予定されています。

「うちの子・まちの子・みんなの子」を合言葉に、地域一丸となった活動への参加をお願いします。

役場教育委員会

四二一三九七一

# 静岡県消防協会賀茂支部査閲大会

## 三十年ぶり ポンプ車操法の部優勝



### 第1分団第3小隊 ポンプ車操法選手

- 指揮者 植松 秀人
- 一番員 稲葉 智浩
- 二番員 肥田 亮一
- 三番員 佐藤 輝彦
- 四番員 岡村 晴規
- 補助員 山本 晴規

六月五日（日）、松崎町総合グラウンドで県消防協会賀茂支部査閲大会が行われました。大会には賀茂地区六市町の消防団員約六百名が参加しました。

この大会は、団員の技術向上と意識の高揚を目的に隔年で開催されています。

競技は、ポンプ車操法は六人、小型ポンプ操法は五人のチームで操作の正確さや時間を競いました。

松崎町消防団からはポンプ車操法の部に第一分団第三小隊（道部）、小型ポンプ操法の部に第一分団第二小隊（伏倉・宮内）が出場し、大会に向けて続けてきた訓練の成果を遺憾なく発揮し、ポンプ車操法の部では見事三十年ぶりの優勝を飾りました。



第1分団第2小隊小型ポンプ操法選手

### 大会結果

#### ポンプ車操法の部

- 優勝 松崎町
- 準優勝 河津町
- 第三位 東伊豆町
- 小型ポンプ操法の部
- 優勝 東伊豆町
- 準優勝 河津町
- 第三位 西伊豆町

- 指揮者 佐藤 渉
- 一番員 石田 和也
- 二番員 鈴木 啓士
- 三番員 小林 勇
- 補助員 藤池 拓也



ポンプ車操法



ポンプ車操法



小型ポンプ操法



# 平成十六年度 事業会計決算の概要

## 水道事業会計

昨年度の有収水量は一六万一千立方メートルで、前年と比べ一般及び官公署を中心として二千三百立方メートルの増となりました。

使用水量の増による収益の増加と、修繕料、取替量水器費等の減による費用の減少により、二、八七六万円の純利益計上となりました。

なお、平成十三年度から継続しておりました大沢新水源井整備事業が十六年度に完成し、十七年四月から供給開始しました。

さらに中川地区水道本管改良も併せて重点的に取り組んでおり、早期完成と清浄な水の安定供給に努めます。

## 温泉事業会計

現在の契約給湯戸数は、自家用三二四戸、営業用四十二戸、毎分二、二〇二リットルを給湯しています。

営業用から自家用への種別変更による供給収益の減、消

費税法の改正による雑収益の減少により一、一七九万円の純利益計上となりました。

施設は順調に稼動していますが、収益が減少傾向にあることから、新規加入や利用促進に努めます。

## 国民宿舎事業会計

都市部においては景気も次第に回復傾向にあるということですが、伊豆地域全体の観光業界は、依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、伊豆まつざき荘においても「友の会」を発送させ、リピーターを確保するとともに、増加するインターネットの利用者向けに、検索サイトからの予約窓口を設けるなどの新しいシステムを取り入れ、販路の開拓を実施しました。

しかしながら四月からの浜名湖花博や、十月の台風の影響により利用率、収益とも大幅に減少し二、六七二万円の損失となりました。

新しい施設の建築につきま

しては、平成十六年度末において、全体の二十四パーセントが完了し、来年三月のオープンを予定しています。

平成十七年度は現在の伊豆まつざき荘が閉館となりますので、謝恩企画等を実施し、集客に努めます。

## サンセットヒル松崎

平成十六年度は「連泊とくとくプラン」等の営業企画を実施し、また「友の会」や「ホームページ」をより充実させ集客に努めました。

しかしながら、伊豆全体の入込み客数の減少に加え、旅行者の少人数化、特定期間への集中などにより宿泊客は減少し一、七九二万円の損失となりました。

平成十七年度はサンセットヒル松崎も二月いっぱいをもって閉館となりますので、謝恩企画や料理の改善、「友の会」もサービスをより充実させ、集客に努めます。

## 会計別決算状況

単位：千円（税抜）

項目 会計別	決算額		差引 (純損益)	前年対比	
	収入	支出		収入	支出
水道事業会計	146,008	117,249	28,759	100.3	98.9
温泉事業会計	71,681	59,886	11,795	96.8	99.9
伊豆まつざき荘	173,132	199,853	△26,721	84.1	93.6
サンセットヒル松崎	170,462	188,386	△17,924	86.4	90.4



サンセットヒル松崎



大沢取水ポンプ場

# 市町村合併に新たな動き

市町村合併については、ここ数年全国で推進され、平成十一年三月三十一日現在で三千二百三十二市町村あったものが、来年三月三十一日には千八百二十二になり、四十三・六パーセントの減少率になります。

今年四月からは新しい「市町村の合併の特例等に関する法律」が施行され、それに伴い自主的な市町村の合併を推進するための基本的な指針が定められ、去る五月三十一日に総務大臣より告示されました。

それによると、都道府県は自主的な市町村合併の推進に関する構想を作成し、構想に基づき、合併協議会設置勧告や合併協議会に関するあっせん及び調停、合併協議推進勧告の措置を講ずることができると、従来にも増して県は重要な役割を果たすことにな

ります。その他、合併特例区等の制度の創設や新法における特例措置等が示されました。都道府県が構想を定めるには、「審議会」を設置し、構想の作成について充分審議、検討を行い、構想には、次の事項を定めることになっていま

- ◎ 自主的な市町村の合併推進に関する基本的な事項
  - ◎ 市町村の現状及び将来の見通し
  - ◎ 構想対象市町村の組み合わせ
  - ◎ 自主的な市町村の合併を推進するために必要な措置
- このなかで、構想対象市町村の組み合わせを示すにあたって、おおむね次に掲げる市町村が対象になります。
- ◎ 生活圏を踏まえた行政区域の形成を図ることが望ましい市町村

◎ 更に充実した行政機能等を有する指定都市、中核市、特例市を目指す市町村

◎ おおむね人口一万人未満を目安とする小規模な市町村

以上が今回国から示された基本指針の概要ですが、静岡県

の合併推進構想策定に向けてのスケジュールは、今年六月に市町村合併推進審議会設置条例を県議会に提出し、八月から審議が始まり、来年三月には合併推進構想の策定、公表される見込みです。

静岡県では、今後小規模市町村の財政運営診断等を実施し、首長や議会、団体等の意向調査を行って、最も重要な合併の枠組みを一つに絞っていく予定とのことです。

当町でも再度の合併議論が進められることになりましたが、ご理解ご協力をお願いします。

# 国民健康保険税率を改正します

平成十七年度本算定(七月)から新税率になります。

松崎町の医療費水準は、県下では比較的低く推移していますが、医療給付費の増加は平成八年度から比べ、昨年度は三十%近く増加しているのが現状です。町では、税負担を少しでも軽減するため、平成八年度以降税率改正を見合わせ、医療費増に対応するため、平成十六年度には国民健康保険給付費支準備基金積立金から七千万円取り崩し、平成十七年度は二千七百万円の取り崩しを予定しています。しかし、今後の医療費の伸びや介護納付金の増額により対応できなくなることが想定されており改正します。

所得金額百五十九万円、固定資産税額八万円、四十歳以上二名、四十歳未満二名の標準世帯の場合約二十五%アップになります。

基本健診やガン検診等の受診、健康相談、栄養相談等への参加など、早期発見、早期治療に心がけることや、多受診、重複受診に気をつけ「自分の健康を守る」ことが、医療費の増加を防ぐことにつながりますので、皆様のご協力をお願いします。

松崎町の医療費水準は、県下では比較的低く推移していますが、医療給付費の増加は平成八年度から比べ、昨年度は三十%近く増加しているのが現状です。町では、税負担を少しでも軽減するため、平成八年度以降税率改正を見合わせ、医療費増に対応するため、平成十六年度には国民健康保険給付費支準備基金積立金から七千万円取り崩し、平成十七年度は二千七百万円の取り崩しを予定しています。しかし、今後の医療費の伸びや介護納付金の増額により対応できなくなることが想定されており改正します。

所得金額百五十九万円、固定資産税額八万円、四十歳以上二名、四十歳未満二名の標準世帯の場合約二十五%アップになります。

基本健診やガン検診等の受

医療分	改正前	改正後
[所得割]	5.4%	6.83%
[資産割]	35.0%	40.0%
[均等割]	16,800円	20,000円
[平等割]	18,900円	23,000円
[限度額]	530,000円 (据え置き)	
介護分	改正前	改正後
[所得割]	0.65%	1.7%
[資産割]	3.5%	5.0%
[均等割]	5,500円	5,800円
[平等割]	3,500円 (据え置き)	
[限度額]	70,000円	80,000円

# 子ども会球技大会

六月十二日(日)、総合グラウンドと勤労者体育館を会場に、松崎町子ども会球技大会が開催されました。

男子ソフトボールは総合グラウンドで四チームのトーナメント戦、女子ドッジボールは勤労者体育館で六チームの勝ち抜き戦が行われました。

男子ソフトボールは松小パワーデビルが優勝。女子ドッジボールは優勝した三浦タイガースと二位の中川やまびこが今月行われる郡大会に駒を進めました。

## 大会結果

- 男子ソフトボール  
 優勝 松小パワーデビル  
 準優勝 中川はやぶさ  
 第三位 三浦デビルキングス
- 女子ドッジボール  
 優勝 三浦タイガース  
 準優勝 中川やまびこ  
 第三位 岩科ロックス



野球スポーツ少年団  
 県大会出場  
 決定!

五月二十二日、二十九日の二日にわたり、総合グラウンドで県民スポーツ祭下田支部大会が行われ、松崎野球スポーツ少年団は予選すべてをワールド勝ちし、決勝戦も大差で勝ち取り優勝しました。

昨年からの好調を維持している同チームは、他の大会でも好成績を収めており、八月に行われる県大会での活躍が期待されます。皆さん応援しましょう。

# 松崎文芸

俳句

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| つづら折り着けば夏めく達磨山                | 山本武男  |
| ループ橋三廻り半や風薫る                  | 小林忠男  |
| 新緑の樹々の囁き峠ごえ                   | 小林一男  |
| 薫風や富岳に対座して晝餉                  | 佐藤享   |
| 土産屋の豪儀に飾る夏蜜柑                  | 細谷金治  |
| 夏富士にまみえ幸先よき日和り                | 稲葉文字  |
| 一鉢のバラに余韻の句会旅                  | 稲葉菊恵  |
| 峠路に触れたき程の皐月富士                 | 依田ふじ枝 |
| アルプスを右に左に初夏の旅                 | 土屋規矩子 |
| 風に乗る薔薇の香りの濃く淡く                | 吉岡うた子 |
| 人なくも活気の兆し田水張る                 | 夏目和子  |
| 身をかがめ近づき見れば薔薇笑ふ               | 清水高子  |
| 新樹光 <small>た</small> 称ふ細かさ象牙館 | 鈴木すみ枝 |
| 婆娑羅路に初夏告ぐ木々の白い花               | 斎藤みつ子 |
| 紫陽花は玉先染めて雨を待つ                 | 松田美智子 |



# まちのびろろ

## 波間の持久戦 シーカヤックマラソン

六月五日（日）岩地海岸の海開きに合わせてシーカヤックマラソンが開催され、八十五艇による波間の戦いが海の季節到来を告げました。

シーカヤックマラソンは一人乗りのシングル男女と、二人乗りのタンデムの三部門に分かれ、波勝崎までの往復十四キロでタイムを競いました。



## たばこ組合で 奉仕作業

六月三日（金）松崎町たばこ組合メンバーによる奉仕作業が行われました。

たばこのポイ捨て防止と喫煙マナーの向上を訴える目的で昭和四十年代から毎年実施しているもので、商店街通りやバイパスに捨てられたたばこの吸殻やゴミの収集を行いました。



## 緑の少年団・三聖塾生 十字の園の花の植替え

六月十八日（土）松崎十字の園で、緑の少年団と三聖塾生による花の植替えが行われました。

当日は民生委員や中学生、高校生も応援に駆けつけ、総勢五十人近い人数で花壇の草取りと花の植替え作業が行われ、一時間ほどきれいな花壇に生まれ変わりました。



## 花の交流

今年も北海道帯広市から「スズラン」が届きました。

空を飛んで、羽田空港から託送されたのですが、元気に咲き香っている。白い可憐な花が実にさわやかで、梅雨のうっとおしさを忘れさせてくれる。

花といえば、今年安曇村の開村式に、記念樹として早咲きの桜の苗木を贈ったところ、村内各所に植えてくれた。

花の交流として帯広市にも染井吉野や山桜などを百年記念館や依田勉三翁の銅像周辺に植えたらどうだろうか。きっと桜の名所になるだろう。

そして、札幌、丸山公園、五稜郭などの桜の名

所に加わるだろうかなどと  
思った次第です。

松崎町長

深澤 進

## 町長室からこんにちは ④3



## 町の人口と世帯

(平成17年6月1日現在)  
( )は前月比

総人口	8,598人 (+ 4人)
男	4,097人 (- 1人)
女	4,501人 (+ 5人)
世帯数	3,143戸 (+ 4戸)
転入	23人
転出	17人
出生	3人
死亡	5人

## 町の交通事故

平成17年6月15日現在  
( )内は前年対比

人身事故	18件	(- 9)
物損事故	49件	(- 8)
死者	0人	(± 0)
傷者	27人	(- 6)

## 戸籍だより (5月分)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
野田	菊池宗太郎	89	明 夫
石部	高橋ツナエ	71	浩 司
東区	山本甲子郎	91	俊 一
宮内	深澤 範正	84	稔

### おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
江奈3	ココナ愛	女	橋本卓哉
伏倉	ナツ夏綺	男	小林克己
北区	ツムギ紬	女	松本佳人

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

## 保健師だより

### プール熱(咽頭結膜熱)

水泳やエクササイズなどでプールに通う人も多いことと思います。咽頭結膜熱はプールの水で感染することが多いため、プール熱と呼ばれています。

#### 症状

急な高熱(39℃~40℃)、目に、目の充血といった結膜炎症状、のどの腫れ・痛み、その他、軽い咳、鼻水や下痢など

#### 治療

ウイルスをやつつける特效薬はないので、それぞれの症状に応じた薬や処置が必要です。他のウイルスの風邪に比べて感染力が強いのでしっかり予防しましょう。「プールから上がったら」シャワーを浴び、目や手を洗い、うがいをします。「家では」感染するのは、プールに限らないので、家族でタオル、洗面器、食器など共用しないで、手洗いをこまめにする。

## 学校ひろば

(49)

松崎小学校

☎ 四二一〇〇四九

### 「気づきの目」のこれからに

雨水の抜けた運動場の一つ、二つと足跡が残ります。月曜日の朝のことです。手に袋を持ち、時折しゃがんでまた立ち上がる子供たち。小屋の陰に消えたかと思うと、またひよっこり立ち現れます。

見れば袋の中には、お菓子の袋や空き缶、ペットボトルがたくさん入っています。この頃、松崎小学校の校庭では休み明けにこんな光景がよく見受けられます。

町を挙げて「明るくあいさつ・はつきり返事・しつかり後しまつ」の活動を行っているのではなかったの?。こんな疑問が浮かびます。

袋を手に行っている六年生はボランティアとしてゴミの片づけをしています。数人の場合もあるし、もつと多い場合もあります。

子供たちは、袋や紙をつまみながら目で会話をしています。

